

## 平成24年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成23年11月4日

上場会社名 株式会社ティーアンドケイ東華(商号 株式会社 T&K TOKA)

上場取引所 大

コード番号 4636 URL <http://www.tk-toka.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 増田 至克

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部部長 (氏名) 北條 実

TEL 03-3963-0511

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日

平成23年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	24,250	2.5	1,323	37.5	1,377	34.3	891	23.3
23年3月期第2四半期	23,655	11.6	2,116	53.8	2,096	38.2	1,161	62.0

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 1,109百万円 (115.1%) 23年3月期第2四半期 515百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年3月期第2四半期	71.42	
23年3月期第2四半期	93.08	

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
24年3月期第2四半期	48,815		32,764		60.3
23年3月期	48,294		31,816		59.2

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 29,455百万円 23年3月期 28,570百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
23年3月期		13.00		13.00	26.00
24年3月期		13.00			
24年3月期(予想)				13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	48,760	3.3	2,930	21.6	2,960	21.3	1,580	29.7	126.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 3「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご参照ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	12,506,170 株	23年3月期	12,506,170 株
24年3月期2Q	28,606 株	23年3月期	28,543 株
24年3月期2Q	12,477,600 株	23年3月期2Q	12,477,736 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は添付資料P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響から落ち込んでいた生産活動の回復により持ち直しつつありますが、欧米における金融不安や景気の減退懸念、円高の進行による企業収益悪化の懸念もあり、先行きが不透明な状態が続いております。また、アジア地域におきましては、中国では個人消費の堅調な増加や設備投資の高い伸びなどに支えられて景気拡大が続き、その他アジア地域においても総じて堅調に推移しております。

印刷インキの需要先であります印刷業界におきましては、日本市場では景気低迷の影響による広告需要の減退、モバイル端末等による情報の電子化などにより縮小傾向にあり、依然として厳しい状況にあります。一方、中国をはじめとしたアジア地域では堅調な経済成長に支えられ、順調に推移いたしました。また、特殊UVインキの関係する液晶ディスプレイ関連市場は、モバイル端末分野は拡大しているものの、その他分野では先進国経済の低迷をうけ一進一退の状況となっております。

このような経営環境の中で、当社の経営理念でありますT&K (Technology and Kindness=技術と真心)の精神に則り、ユーザーニーズに耳を傾け、ユーザーの真に役立つ製品の開発・供給に注力し、よりきめ細かいサービスの提供に努めました。

震災の影響により原料不足が生じ、印刷インキの供給に支障をきたす恐れがありましたが、海外子会社から代替品の調達を行うなど対応することで、印刷インキを安定的に生産し、供給することができました。

この結果、当社グループの主力製品であります平版インキ及び一般紫外線硬化型インキ（UVインキ）の販売は、国内外とも堅調に推移し、売上高は242億50百万円（前年同期比2.5%増）と増収となりましたが、原材料価格の上昇により営業利益は13億23百万円（前年同期比37.5%減）となりました。四半期純利益は、インドネシアの合弁会社、株式会社チマニートオカの外貨建て債務の評価替えの為替差益85百万（前年同四半期26百万円の為替差損）、親会社の投資有価証券評価損1億86百万円（前年同四半期1億66百万円）を計上したことにより、8億91百万（前年同期比23.3%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、セグメント別の売上高及び営業利益はセグメント間の内部取引消去前の金額によっております。

#### ① 印刷インキ

当セグメントにおきましては、一般向け紫外線硬化型インキ（UVインキ）が堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は242億46百万円（前年同期比2.5%増）、セグメント利益（営業利益）は13億14百万円（前年同期比37.6%減）となりました。

#### ② その他

売上高は27百万円（前年同期比1.1%減）、セグメント利益（営業利益）は4百万円（前年同期比2.6%増）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産については、前連結会計年度末に比べて5億20百万円増加し、488億15百万円となりました。これは前連結会計年度末に比べて現金及び預金が6億7百万円増加したこと、有価証券が2億99百万円増加したことが主な要因であります。

負債については、前連結会計年度末に比べて4億26百万円減少し、160億51百万円となりました。これは前連結会計年度末に比べて、短期借入金が66百万円減少したこと、未払金（流動負債その他）が1億45百万円減少したことが主な要因であります。

純資産については、前連結会計年度末に比べて9億47百万円増加し、327億64百万円となりました。これは前連結会計年度末に比べて利益剰余金が7億28百万円増加したこと、為替換算調整勘定が1億71百万円増加したことが主な要因であります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、現時点において、平成23年5月9日に公表いたしました「平成23年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」から変更はありません。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### ○税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

### (4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

### 3. 四半期連結財務諸表

#### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,329	5,936
受取手形及び売掛金	16,296	16,149
有価証券	102	401
商品及び製品	3,625	3,616
仕掛品	415	449
原材料及び貯蔵品	2,395	2,490
その他	676	710
貸倒引当金	△115	△138
流動資産合計	28,727	29,615
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,430	14,625
機械装置及び運搬具	14,092	14,346
土地	5,564	5,641
その他	3,746	4,181
減価償却累計額	△21,595	△22,667
有形固定資産合計	16,239	16,127
無形固定資産		
のれん	5	2
その他	190	207
無形固定資産合計	195	209
投資その他の資産		
投資有価証券	2,206	1,976
その他	981	957
貸倒引当金	△55	△71
投資その他の資産合計	3,132	2,862
固定資産合計	19,567	19,199
資産合計	48,294	48,815

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年 9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,886	8,873
電子記録債務	—	972
短期借入金	1,929	1,912
1年内返済予定の長期借入金	65	15
1年内償還予定の社債	10	5
未払法人税等	419	379
引当金	697	623
その他	1,580	1,299
流動負債合計	14,588	14,080
固定負債		
長期借入金	35	35
退職給付引当金	963	1,048
その他の引当金	153	139
資産除去債務	102	103
負ののれん	215	186
その他	418	457
固定負債合計	1,889	1,970
負債合計	16,478	16,051
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,060	2,060
資本剰余金	2,059	2,059
利益剰余金	27,935	28,664
自己株式	△49	△49
株主資本合計	32,005	32,734
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	120	104
為替換算調整勘定	△3,555	△3,384
その他の包括利益累計額合計	△3,435	△3,279
少数株主持分	3,246	3,308
純資産合計	31,816	32,764
負債純資産合計	48,294	48,815

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	23,655	24,250
売上原価	18,149	19,404
売上総利益	5,505	4,845
販売費及び一般管理費	3,389	3,522
営業利益	2,116	1,323
営業外収益		
受取利息	40	52
受取配当金	39	41
持分法による投資利益	7	7
負ののれん償却額	28	28
その他	27	22
営業外収益合計	144	152
営業外費用		
支払利息	20	23
為替差損	83	21
支払補償費	1	0
投資有価証券評価損	27	32
その他	31	21
営業外費用合計	164	98
経常利益	2,096	1,377
特別利益		
固定資産売却益	0	3
為替差益	—	85
貸倒引当金戻入額	21	—
その他	—	19
特別利益合計	22	108
特別損失		
固定資産売却損	16	1
固定資産除却損	63	16
投資有価証券評価損	166	186
為替差損	26	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	91	—
その他	4	4
特別損失合計	369	209
税金等調整前四半期純利益	1,748	1,276
法人税等	462	356
少数株主損益調整前四半期純利益	1,286	919
少数株主利益	125	28
四半期純利益	1,161	891



四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,286	919
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△205	△15
為替換算調整勘定	△562	209
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	△4
その他の包括利益合計	△770	190
四半期包括利益	515	1,109
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	502	1,047
少数株主に係る四半期包括利益	13	62

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他 (注)	合計
	印刷インキ		
売上高			
外部顧客への売上高	23,650	4	23,655
セグメント間の内部売上高 又は振替高		23	23
計	23,650	27	23,678
セグメント利益	2,107	4	2,112

(注) 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種産業廃棄物の焼却処理及び生命・損害保険代理業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,107
「その他」の区分の利益	4
セグメント間取引消去	4
四半期連結損益計算書の営業利益	2,116

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント	その他 (注)	合計
	印刷インキ		
売上高			
外部顧客への売上高	24,246	3	24,250
セグメント間の内部売上高 又は振替高		23	23
計	24,246	27	24,274
セグメント利益	1,314	4	1,319

（注）「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種産業廃棄物の焼却処理及び生命・損害保険代理業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	1,314
「その他」の区分の利益	4
セグメント間取引消去	4
四半期連結損益計算書の営業利益	1,323

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度から、連結子会社であった富士化成工業株式会社を合併したことにより、報告セグメントの区分方法を変更し、「合成樹脂」セグメントを「印刷インキ」セグメントへ編入しております。

前連結会計年度の対応する四半期連結累計期間については、変更後の区分方法により作成した報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報を記載しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。